

## 「学びの保障」のための授業と家庭学習との効果的なつながり

家庭学習で見童生徒に付けたい資質・能力は

「自ら課題を見つけ、自ら学びをマネジメントする力」です。

効果的な活用を！



「家庭学習を充実させる取組」推進のためのリーフレットYKGGK！



新型コロナウイルス感染症への防止対策による学校休業期間が3ヶ月に及び、児童生徒が家庭で学習する時間が増える中で、**この力の必要性**がますますクローズアップされています。

個人でも実施可能な学習活動の一部をICT等も活用して授業以外の場において行う

上記は、文部科学省が示したあくまで「今般の事態を受けた特例的な対応」ですが、「**授業と家庭学習とをつなぐ**」視点をもつことが大切です。

また、京都府教育委員会は、「カリキュラムを見直して、効果を最大化する授業づくりを」(令和2年6月)で、授業の効果を最大限引き出すための視点の1つとして「**家庭学習の活用**」を提示しています。

家庭学習については、各学校で力を入れて取り組んでおられると思いますが、今年度配付した『家庭学習を充実させる取組』推進のためのリーフレット」を効果的に活用していただくとともに、以下に示す例を参考にしながら、授業と家庭学習をつなぐ視点で、家庭学習を充実させてほしいと思います。

<授業とつなげる家庭学習の例>

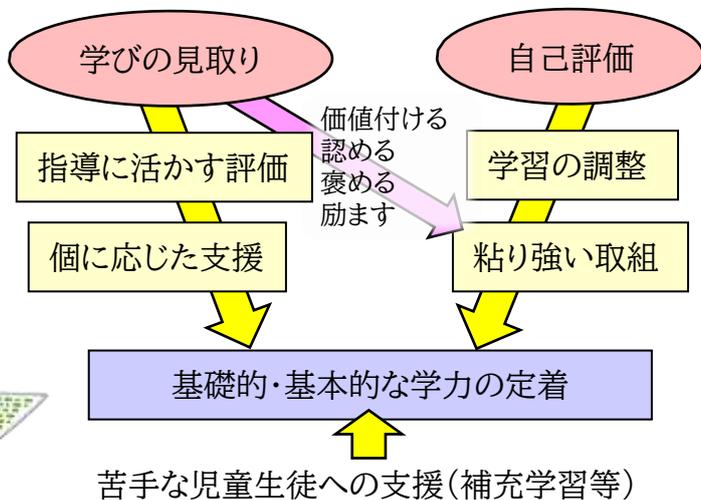
学習した内容の**確認や定着**をねらいとした課題

授業で身についた知識・技能を確認したり、定着させたりすることができます。

(同リーフレットYK GK!より 基礎学力の定着 効果的な反復学習を!)

<例>

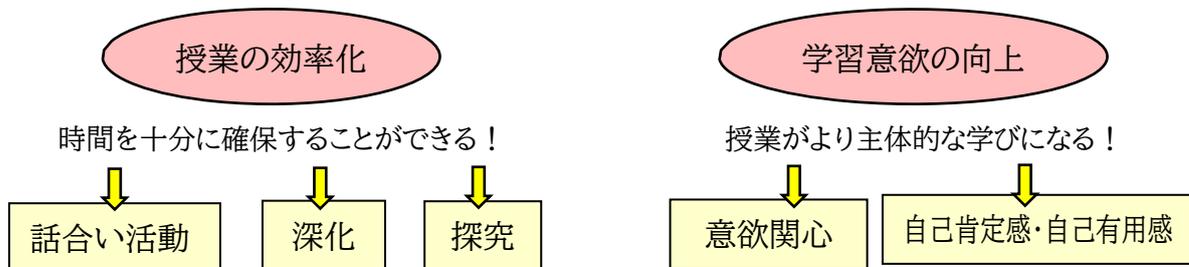
- 算数・数学の適用題
- 国語の漢字や言語に関する課題
- 英単語、英文音読
- 英文や英文構造に関する課題
- 音楽(歌唱・リコーダー、鍵盤ハーモニカの練習等)
- 教科の知識を問う課題等



授業に**生きる**家庭学習

既習事項の確認や興味付けにつながる情報の収集、課題に対する思考プロセスや構想等を課すことが考えられます。

(「家庭学習を充実させる取組」推進のためのリーフレットYK GK!より やる気の向上 授業と家庭学習をつなぐ)



学び方やヒントを提供するなど、誰もが自学可能にするために内容を工夫します。

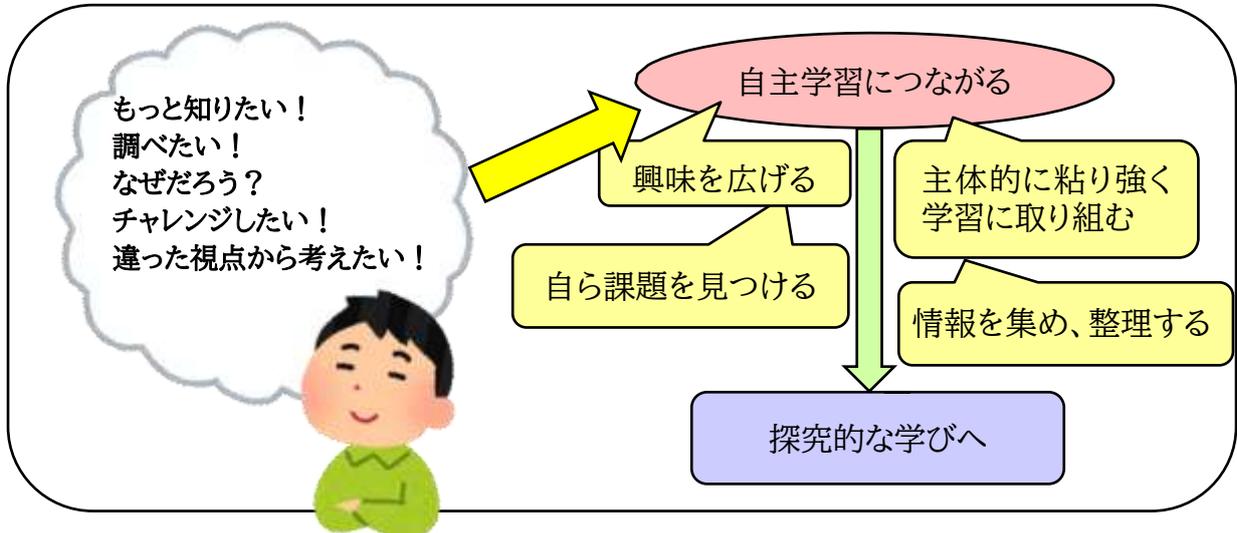
<例>

- 算数・数学(小数のかけ算→小数×整数、10倍、1/10した数等)
- 国語(音読、難解語の意味調べ、初発感想、作文の構想等)
- 生活(家庭学習で朝顔の種まきや観察をして観察カードをかき、授業では観察カードの交流、内容の深化を行う)
- 理科(実験結果の予想や疑問・課題見つけ等)
- 図工・美術(作品の設計図や構想等)

## 授業を活かす家庭学習

学習したことを活かして発展的に取り組む課題を課します。指導計画の中に設定している単元(まとまり)もあり、授業内容の精選や整理につなげることができます。

(同リーフレットYKGGK!より やる気の向上 授業と家庭学習をつなぐ 知的好奇心をくすぐり、やりたくなるような仕掛け!)



<例>

算数・数学(身の回りの体積や容積を調べる、平均を使って自分の歩幅を求め等)  
国語(日々の出来事を記録する、紹介されている本を読む、俳句作り等)  
外国語(学習した内容で、家族と会話をする等)  
社会(米の値段を調べる等)



挑戦状を活用

つなげることにより期待できること

授業をより効率的、  
効果的に進めること  
ができる

学習内容がより深  
まり、学習意欲が高  
まる

より個に応じた支援  
が可能になる

授業とつなげる視点で家庭学習を課すときは、

「この家庭学習は、こういう力を付けるために、この教科・単元(まとまり)のこの部分とつなげる」ということを明確にすることが大切です。

少しでも家庭学習が好きな児童生徒を増やしたい!

